

上里のまちづくり方針

上里自治会・上里地域振興協議会

上里は京都市西京区大原野地域の東部に位置し、北に洛西ニュータウン、東に向日市、南に長岡京市と市街地に隣接しています。阪急東向日駅、JR 向日町駅から阪急バスで15分ぐらいであり、京都市内中心部や大阪へ出るのも便利で、通勤通学する人たちが多く住んでいます。

上里の西側には都市計画道路中山石見線が現在工事中で、開通の暁には、向日市・長岡京市から国道9号線までの幹線道路として期待されています。

また、上里は古墳などの遺跡が点在するとともに「源氏物語」や「伊勢物語」の舞台となった由緒ある大原野地域の一角で、古くから集落が形成されてきた歴史もあり、農地や竹林を中心とした緑も多く、良好な住環境が形成されています。

春には京都西山ブランドの筍が採れ、夏には地域内を流れる善峰川に蛍が乱舞し、秋には紅葉、冬には刈り取られた田んぼに雪が積もり凜とした空気に包まれます。

教育施設としては、たけのここども園、上里小学校があり、上里周辺には大原野こども園、大原野幼稚園、大原野中学校があります。自然環境を利用した農業体験など地域に根差した教育を取り入れ、のびのびとした教育を実践しています。

こんな上里も全国的な傾向と同じく、少子高齢化が進んでおり、高齢の方の割合が増える中、市街化調整区域であるため、住宅の新たな建築に制限がかかるなど、若い世代の流入が難しいという課題を抱えています。

こうした課題に取り組むため、「市街化調整区域における地区計画制度」の活用に向けた検討を進めており、上里を元気にする様々な意見を住民で出し合い、平成31年3月に「上里地区まちづくりビジョン」を策定し、「農業と自然と人が調和する、歴史ある上里地区の風景を次世代につなぎ、子供から高齢者までいきいきと暮らす、人をひきつけるまちをつくる」をまちづくりの目標としました。

こうした中、令和4年4月に「京都市市街化調整区域における開発許可等の基準を定める条例」が施行され、市街化調整区域の建築等に関する規制が緩和される内容であったことから、まずこの条例の導入を進めます。

この条例に基づく区域指定の申し出を行い、地域の担い手となる新たに移り住む方を受け入れるための住宅の開発を認め、周辺環境と調和した良好な低層住宅地を目指します。

京都市西京区大原野上里自治会 指定区域図

